

私は、各地域の市民のみなさんから総合交流センターについて意見をお聞きました。そこで感じたのは、市民のみなさんに議論が十分に浸透していないこと、唐突に計画が出されたという意識が強いということです。このため現計画を一時休止し、多くの市民のみなさんからの意見を伺うことから始めていきたいと考えており、改めてこれまでの計画を示させていただきました。ぜひご意見をお寄せください。



みちひろ 國島芳明市長

施設の特徴その③

レジャーブルではなく、健康増進機能を重視したコンパクトな施設にし、維持管理費を抑えます。

施設の特徴その④

木材を積極的に活用し、高山らしい建物にします。

◆オープンテラス(市内を展望したり、休息できるスペース)

◆情報コーナー(支所地域や市内のイベント情報の提供、公共施設を含めた総合案内ができる施設) 会議室(各種会議などを行うことができる施設) スコーナ(親子が休息でき授乳などに配慮し

◆自由通路
(駅の東西をつなぐ自由通路を利用することにより、立体駐車場から雨に濡れることなく公共交通機関が利用できます)

○コンサートや市民によるフリーマーケットなどのイベントが開催できるよう各種設備が整った屋外広場
面積:約1,700㎡

多目的広場

多目的広場約1億円 ◆駐車場約6億円 ◆設計費約1億円
です。

お気軽にご意見をお寄せください。

どんな施設や設備を望んでいるかなど市民のみなさんの声を今後の計画などに反映するため、ご意見を募集します。

閲覧・意見募集期間 12月31日(金)まで

資料の閲覧場所 ①駅周辺整備課(市役所3階)、健康推進課(保健センター1階)、市民コーナー(市役所1階) ②各支所地域振興課③市図書館「煥章館」、市民文化会館、ビッグアリーナ、女性青少年会館(いずれも開館時間)④市ホームページ

意見を提出できる方 市内在住・在勤・在学ならどなたでも

提出方法 右のハガキを切り取って郵送いただくか、市ホームページおよび各閲覧場所にある意見書に記入の上、**郵送・FAX・MAIL**または駅周辺整備課へ持参ください。

駅周辺整備課

問合先

☎35-3180 FAX35-3168

ekishuuhenseibi@city.takayama.lg.jp

Q&A総合交流センター

●交流施設

Q市民文化会館や飛騨センターとの違いは?

ホールなどがある文化会館とは異なり、イベントができる空間や会議室を必要としない簡易な打合せ、J Rや路線バス、のらマイカーなどの待合利用など、自由度のある施設を計画しています。

Q誰が交流するための施設なの?

子どもから高齢者、観光客などが交流センターを利用することで市民活動などさまざまな活動にふれることができる施設が必要と考えています。観光地・高山だけではなく、成熟した日常の市民活動や新しい高山市の一面を紹介できる施設を計画しています。

●健康増進施設

Qなぜ、健康増進施設の整備が必要なの?

近年医療費の増加が大きな課題となっていますが、適度な運動で予防できる疾患は少なくありません。健康増進施設では、体力づくり・病気の発症や重症化の予防など、年齢や健康状態、健康課題に応じた運動が通年でできるよう屋内プールやトレーニング室などを計画しています。

Qなぜ、高山駅西地区につくるの?

市では、どこに施設を整備すべきか公共用地の有無や利便性、熱源の確保などを基準に市内数カ所で検討してきました。その結果、一番利便性がよく地下水が豊富である高山駅西地区に「交流センター」と一体的に整備することとしました。さまざまな施設を併設整備することにより、市外からの利用者も見込まれ、中心市街地の活性化にもつながると考えています。

総合交流センターについて

※必ず裏面の住所・氏名などもご記入ください。

①交流施設について

現在計画している施設に対する意見や、交流施設としてどのような施設や設備があるといいと思われますか。

②健康増進施設について

現在計画している施設に対する意見や、健康増進施設としてどのような施設や設備があるといいと思われますか。

③自由意見

上記以外に、こんな整備をしたらいいなど自由な意見をお聞かせください。